



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル

TEL(03)3357-3741/FAX(03)3357-7444

http://www.jcbl.or.jp/ E-mail:info@jcbl.or.jp

2008年10月22日

## - 第1回ワールドマインドスポーツゲームズ(WMSG)併催「世界ブリッジ選手権」 - 日本シニアチーム優勝！ 日本初の「ブリッジ世界チャンピオン」誕生！

10月3日から16日間にわたり、中国・北京で開催されていた知の祭典「第1回ワールドマインドスポーツゲームズ(WMSG)」併催の世界ブリッジ選手権シニア部門(注:参加資格 58歳以上)において、(社)日本コントラクトブリッジ連盟(本部:東京、会長:藤田公郎)が派遣したシニア・チーム(監督1名、選手6名)が決勝に進出、米国代表チームと大接戦の末、逆転優勝を果たした。ブリッジでの日本シニアチームの優勝は、日本ブリッジ界約60年来の悲願であった世界一の座、そしてWMSGに向けて日本マインドスポーツ史上初めて結成された参加5競技によるチーム・ジャパンにとって併催種目ながら唯一の優勝種目となった。

日本のブリッジ史上初の世界チャンピオンの座に輝いた日本代表シニア・チームは、前田尚志監督以下、大野京子/山田彰彦/井野正行/阿部弘也/中村嘉幸/平田眞各選手の総勢7名でいずれもブリッジ歴30年を越えるプレイヤー。本大会においてブリッジ・シニア部門は32の国と地域から32チーム182名の強豪が参加した。日本は、6日間の予選リーグを米国に次いで2位で突破してベスト16入りし、2日間にわたり1ラウンド16回の勝負(ボード)を6ラウンド行なって総合得点を競う決勝トーナメントに進んだ。その後も日本は順調に準々決勝でイングランドを、準決勝でインドネシアを制し、優勝決定戦の相手は米国に決定した。米国は、2000年のチームオリンピック(開催国:オランダ)でシニア部門が創設されて以来、世界タイトルを守り続けている最強豪国である。10月16日午前11時にスタートした決勝戦初日3ラウンドは終始米国のリードで展開。翌最終日、日本は第5ラウンドで逆転に成功、そのまま逃げ切るかと思われたが、最終ラウンドに入り米国に再逆転を許した。その後は、両チームとも逆転に次ぐ逆転の白熱したシーソーゲームを展開、残り2ボードとなった時点で米国が日本を10ポイントリードしていた。世界中のブリッジファンがインターネットでの生中継を固唾を呑んで見守る中、日本は第15ボードで1ポイント差まで追い上げ、優勝の望みを最終ボードにつなぐ。そして迎えた第16ボード、日本は集中力を切らすことなく3ポイント獲得に成功。結果、日本202 - 米国200という大逆転勝利でWBF(世界ブリッジ連合)金メダルと優勝トロフィーを手にした。常勝米国を破ってシニア世界チャンピオンとなった日本チームには「アジアブリッジ史に残る偉業」と賞賛と祝福の声が各国から寄せられている。

第1回WMSGブリッジ競技は、従来4年に1回開催の「世界チームオリンピック」をWMSGに併催する形で実施。参加国・地域数92、参加選手総数1452人が9種目(注:この内、シニア部門を含む2種目がWMSG併催種目扱い)でメダルをめざすという5競技中最大級のスケールで展開された。日本は、シニア部門のほか、オープン部門、ウイメンズ部門、ユース28歳以下部門に代表チーム計24名を派遣したがシニア以外は惜しくも予選敗退した。また、世界個人ランキング上位者によるマスターズ個人戦女子部門ではウイメンズチームの島村京子選手が選出されて出場。この他、併催されたトランスナショナル・ミックスチーム戦には日本からもプレイヤー有志が多国籍チームを編成して参加した。

### ワールドマインドスポーツゲームズ(WMSG):

2008年10月3日～18日、中国北京市にてオリンピック、パラリンピックに続き、中国政府の全面支援の下、IMS A(国際マインドスポーツ協会。本部:モナコ、代表:J.ダミア二国際ブリッジ連合会長)の主催でオリンピック施設を会場に、ブリッジ・チェス・ドラフト・囲碁・シャンチーの5競技に世界143カ国・地域から代表選手2736名、役員・関係者800名の総勢3500余名が参加した世界最大の知の祭典。日本もこれら5競技の国内競技団体(日本コントラクトブリッジ連盟、日本チェス協会、日本チェッカー・ドラフト協会、日本棋院、日本ペア碁協会、日本シャンチー協会)が各々選考した代表選手によるWMSGチームジャパンを結成して参加した。ブリッジの他には、囲碁競技において「男子団体戦」「女子団体戦」の2種目で銅メダルを獲得している。(了)

お問い合わせ: 社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 担当:高橋/野田

Tel:03-3357-3741 Fax:03-3357-7444 E-mail: y-takahashi@jcbl.or.jp / noda@jcbl.or.jp URL:http://www.jcbl.or.jp/